

取扱説明書



ULTRALINK PRO MX882

Ultra-Flexible 8-Channel Splitter/Mixer

目次

安全にお使いいただくために.....	3
法的放棄.....	3
限定保証.....	3
1. はじめに.....	4
2. 設置と接続	4
2.1 ラックへの設置	4
2.2 電源電圧.....	4
2.3 オーディオ信号接続	4
3. 各部の名称と働き	4
3.1 フロントパネル各部の名称と働き	4
3.2 リアパネル各部の名称と働き.....	5
4. 技術仕様.....	6

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

です。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の的外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146, Road Town, Tortola, British Virgin Islands

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

JP

1. はじめに

ベーリンガー ULTRALINK PRO MX882 があれば、信号の経路に関する様々な問題は一挙に解決します。レコーディング・スタジオで、テレビやラジオのスタジオで、CD などデジタル・ソースの製作現場で、プロの使用に耐えるため、プロのニーズに応じて開発されました。これぞ、まさに万能ツール。次から次へと無数のルーティングを作り出します。その幅広い可能性と画期的な回路構成によって、ULTRALINK PRO は、1 つのステレオ信号を多数のアウトプットに分割するスプリッタとしても、いくつかの信号を 1 つのステレオ・アウトプットへとまとめ合わせるミキサとしても、あるいは各信号のレベルを個別に調整するパッファ・アンプとしても利用できます。ベーリンガー ULTRALINK PRO は、これらのファンクションをすべて簡単に、しかも同時に実現します。

2. 設置と接続

ULTRALINK PRO は、輸送中に破損することのないように、工場で細心の注意を払って梱包されています。それでも包装に破損があった場合は、ただちに中身に損傷がないかどうか調べてください。

- ◆ 万一製品に損傷があった場合、当社に返送するのではなく、まず最初に販売店および運送業者に通知してください。さもないと、損害賠償請求権が無効となる場合があります。

2.1 ラックへの設置

ベーリンガー ULTRALINK PRO は、19 インチのラックに納まるサイズとなっています。高さは、1 ユニット分です。コード類の接続のため、背後に約 10 cm の余裕をとってください。

十分な通気が得られるように注意し、加熱を防ぐため、パーアンプなどの上に ULTRALINK PRO を置かないでください。

3. 各部の名称と働き



図 3.1: ULTRALINK PRO MX882 前面

ベーリンガー ULTRALINK PRO は同一設計の 6 チャンネルを備え、各チャンネルに 2 つの調整つまみ、1 つのバックライト付きスイッチ、および 8 つの LED インジケータがついています。さらに、2 つの調整つまみ、1 つのバックライト付きスイッチ、および 8 つの LED インジケータを装備したメインセクションがあります。

3.1 フロントパネル各部の名称と働き

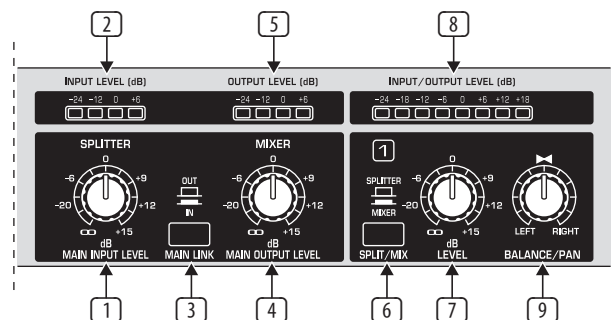


図 3.2: ULTRALINK PRO MX882 フロントパネル各部

2.2 電源電圧

ULTRALINK PRO を外部電源に接続する前に、正しい電圧に設定されているかどうか必ず確認してください。電源コネクタのそばにヒューズホルダがあり、そこに 3 つの三角マークが表示され、そのうち 2 つは互いに向き合う形となっています。ULTRALINK PRO は、このマークの隣りに表示されている動作電圧に設定されています。これを切り替えるには、ヒューズホルダを 180 度回転させます。注意: ただし輸出モデルの中には、たとえば 155 V 専用となっていて、電圧が選択できないものがあります。

外部電源への接続には、電源 3P ケーブルを使います。これは、安全規定に適合しています。

- ◆ すべての機器は、必ず接地が必要です。ご自身の安全のため、本体もしくは電源コードのアース接続を外したり無効にしたりしないでください。

2.3 オーディオ信号接続

ベーリンガー ULTRALINK PRO の入出力はすべてバランス型です。もし可能であれば、他の機器との接続を完全にバランス型で構築すると、最大の防雑音効果が得られます。

- ◆ 機器の据え付けと操作を実施するのは、専門家に限ります。据え付け中もその後も、取扱者が常に十分な接地を確保できるように注意してください。静電放電によって機器の動作特性が損なわれるおそれがあります。

- 1 **MAIN INPUT LEVEL** コントロール信号が入力バスに達する前のメインインプット・ステージにおけるゲインを設定します。SPLIT モードでは、すべてのモノ出力に共通する出力レベルを設定します。
- 2 **INPUT LEVEL** インジケータメインインプットの入力レベルを、-24~+6 dB 間の 4 段階で表示します。
- 3 **MAIN LINK** スイッチこれを押すと、メインインプットの信号がすべてメインアウトに送られます。最高 8 つの入力チャンネルがメインミックスとして混合されます。
- 4 **MAIN OUTPUT LEVEL** コントロールメインアウトプットにかかる出力レベルを調整します。このとき 6 つのモノアウトプットの出力レベルは影響を受けません。モノチャンネルの信号レベルを合計すると、アウトプット・ステージが過負荷となる可能性があります。そのため、この MAIN OUTPUT LEVEL コントロールを使って、出力レベルの総和を調整するのです。
- 5 **OUTPUT LEVEL** インジケータメインアウトプットの出力レベルを、-24~+6 dB 間の 5 段階で表示します。
- 6 **SPLIT/MIX** セレクタ各チャンネルをスプリッタとして作動させるかミキサとして作動させるかを選択します。

- ⑦ **LEVEL** コントロールチャンネルごとの信号レベルを設定します。SPLIT モードではモノチャンネルの出力レベルを調整します。一方、MIX モードでは、モノチャンネルからどのくらいの入力信号をメインアウトプットに送るかを調整します。同時に、レベルを調整できるように、最大ゲイン +15 dB の範囲で、たとえばホーム・レコーディング・レベル (-10 dBV) からスタジオ・レベル (+4 dBu) へのレベル変換も可能です。
- ⑧ **INPUT/OUTPUT LEVEL** インジケータ各チャンネルの入出力レベルを、-240~+6 dB 間の 8 段階で表示します。

- ⑨ **BALANCE/PAN** コントロール。左右のメインシグナルのバランスを調整します。SPLIT モードで、メインの入力信号はモノアウトプットに送信されますが、そのとき BALANCE コントロールによって、左右のメインシグナルの割合を調整します。MIX モードでは、モノインプット信号が混合され、MAIN OUTPUT LEVEL コントロールによって調整されてメインアウトプットに達します。そのとき PAN コントロールによって、各モノチャンネルの入力信号が左右のメインアウトプットに至るときの左右への配分割合が決定されます。

3.2 リアパネル各部の名称と働き

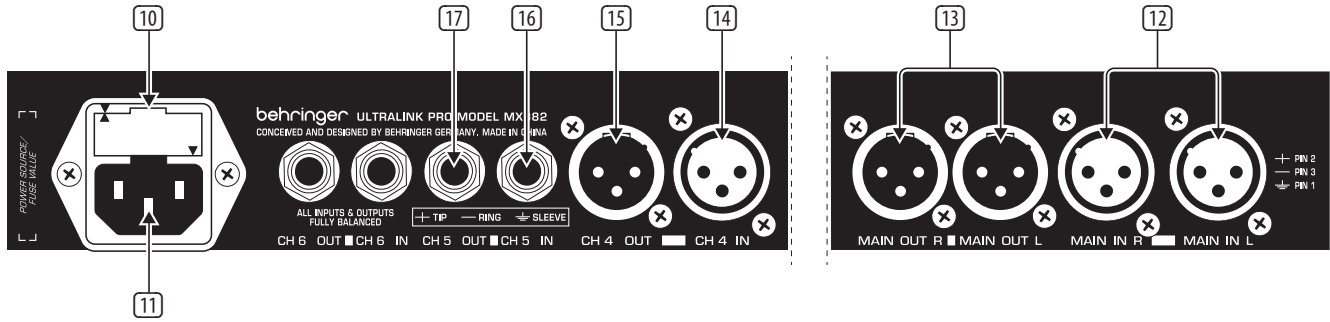


図 3.3: ULTRALINK PRO MX882 リアパネル各部

- ⑩ ヒューズホルダ / 電圧セクタ ULTRALINK PRO MX882 を電源に接続する前に、機器の電圧表示が機器を使用する地域の電源電圧と一致するかどうか必ず確認してください。ヒューズ交換には、必ず同じ型のものを使ってください。
- ⑪ 電源コネクタ機器を外部電源に接続するには、付属の電源コードを使ってください。「設置と接続」の章も参照してください。
- ⑫ メインインプット L/R SPLIT モードで動作するチャンネルのモノアウトプットへ、ここから信号を送ります。コネクタは、バランス型 XLR コネクタです。
- ⑬ メインアウトプット L/R メインの入力信号もしくは MIX モードで動作するモノチャンネルの入力信号のいずれか、またはそれらの両方がここに送られます。コネクタは、バランス型 XLR コネクタです。
- ⑭ モノインプット (チャンネル 1~4) モノチャンネルのモノ入力端子。コネクタは、バランス型 XLR コネクタです。
- ⑮ モノアウトプット (チャンネル 1~4) モノチャンネルのモノ出力端子。コネクタは、バランス型 XLR コネクタです。
- ⑯ モノインプット (チャンネル 5~6) モノチャンネルのモノ入力端子。コネクタは、バランス型フォーンジャックです。
- ⑰ モノアウトプット (チャンネル 5~6) モノチャンネルのモノ出力端子。コネクタは、バランス型フォーンジャックです。

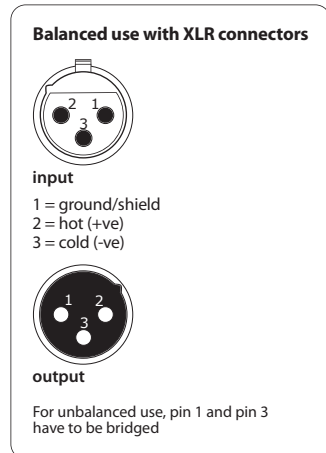
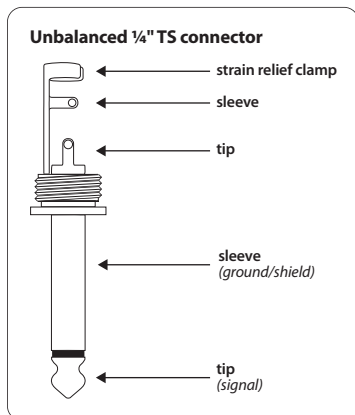
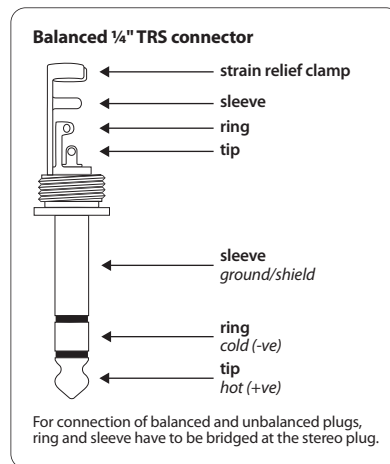


図 3.4: 使用コネクタ一覧

4. 技術仕様

オーディオ・インプット端子

使用コネクタ	XLR コネクタ, 標準フォーンジャック (φ 6.3 mm)
タイプ	高周波フィルター付きサーボ・バランス型
インピーダンス	50 kΩ (バランス時), 25 kΩ (アンバランス時)
規定入力レベル	-10 dBV~+4 dBu
最大入力レベル	+21 dBu (バランス時 / アンバランス時とも)
CMRR	40 dB (typical), 55 dB 以上 (1 kHz 時)

オーディオ・アウトプット端子

使用コネクタ	XLR コネクタ, 標準フォーンジャック (φ 6.3 mm)
タイプ	電子制御式サーボ・バランス型
インピーダンス	60 Ω (バランス時), 30 Ω (アンバランス時)
最大入力レベル	+22 dBu (バランス時 / アンバ ランス時とも)

一般仕様

周波数特性	5 Hz ~ 200 kHz (+/-3 dB)
S/N 比	95 dBu 以上, 非補正, 22 Hz ~ 22 kHz
全高調波ひずみ率	0.002% (typical) (+4 dBu, 1 kHz, ゲイン 1 の時)

ファンクション・コントロール

MAIN INPUT LEVEL	可変
MAIN INPUT LEVEL	可変
LEVEL	チャンネル別に可変
BALANCE/PAN	ステレオバランスの割り当て

ファンクション・スイッチ

MAIN LINK	メイン入力信号をメインアウトプ ットへ
SPLIT/MIX	スプリッタとミキサのモード 変換, チャンネル別

インジケータ

入力レベル (メイン):	4 段階 LED インジケータ -24/-12/0/+6 dB
出力レベル (メイン):	4 段階 LED インジケータ -24/-12/0/+6 dB
入出力レベル (各チャンネル):	8 段階 LED インジケータ -24/-18/-12/-6/0/+6/+12/+18 dB

電源

電源電圧

米国 / カナダ向け:	120 V~ (60 Hz)
英国 / オーストラ リア向け:	240 V~ (50 Hz)
ヨーロッパ向け:	230 V~ (50 Hz)
一般輸出モデル:	100 - 120 V~ 200 - 240 V~ (50/60 Hz)
消費電力	35 W
ヒューズ	100 - 120 V~: T 630 mA H 200 - 240 V~: T 315 mA H
電源接続	標準 3P コネクタ

寸法・重量

寸法	約 8.5 x 1.75 x 19" 約 217 x 44.5 x 483 mm
重量	約 2.38 kg
梱包重量	約 3.5 kg

ベーリンガー社は、最高の品質水準を維持する努力を続けています。そのため、予告なく変更することがあります。したがって、機器の仕様ならびに外観は、ここに記載した内容または図版と異なることがあります。



We Hear You